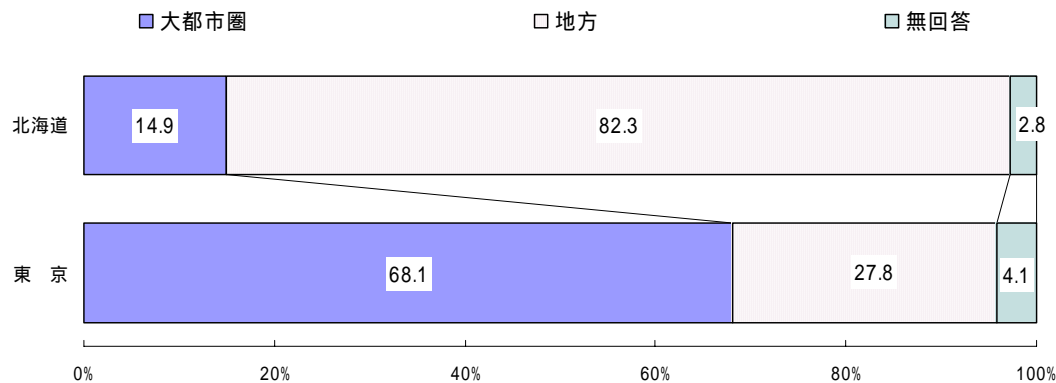


5 . 地方格差に対する見方

(1) 住みやすさ



問 1 0 今の日本では東京などの大都市圏と北海道などの地方と、どちらが住みやすいと思いますか。(単数回答)

住みやすさに対する道民と都民の見方は大きく異なる。道民は「大都市圏」が 14.9%と低く、「地方」が 82.3%と際立って高い。半面、都民は「地方」が 3 割弱にとどまり、「大都市圏」が 7 割近い。

< 北海道 >

市郡別で見ると、町村では「地方」が 75.1%と 8 割を下回り、「大都市圏」が唯一 2 割を超える。

地域別で見ると、「地方」が最も高いのは、十勝・網走・釧路・根室管内の 87.8%である。

問 1 5 の暮らし向きとの関係で見ると、「上向き」とした人は「地方」が 7 割を下回り、「大都市圏」が 3 割に迫る。

< 東京 >

年代別で見ると、50代以上では「大都市圏」が 7 割を上回る。一方、20代では「大都市圏」は 61.3%にとどまり、「地方」が 35.2%と 3 割を超える。

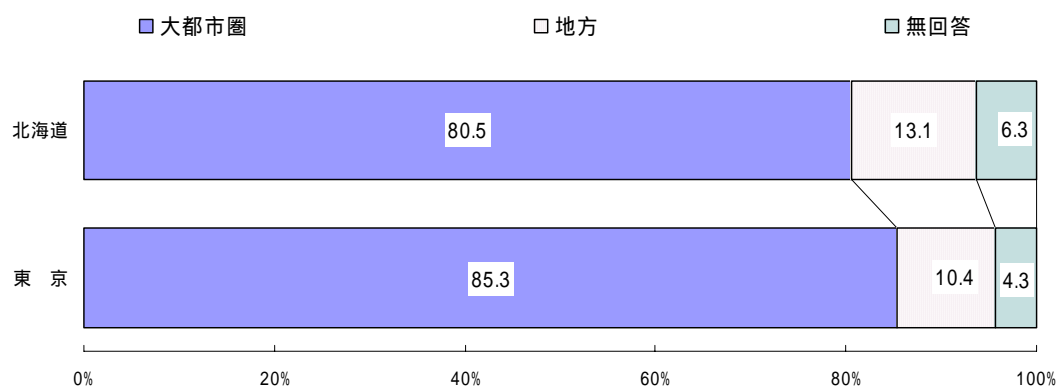
〔北海道〕問10 どちらが住みやすいか(SA)

単位:%	大都市圏	地方	無回答
全体	14.9	82.3	2.8
F1 性別			
男性	17.0	80.1	2.9
女性	13.1	84.2	2.7
F2 年代別			
20代	16.0	84.0	-
30代	19.3	75.5	5.2
40代	17.5	82.5	-
50代	13.2	83.1	3.7
60代	12.9	85.8	1.4
70歳以上	10.5	82.6	6.9
F3 職業別			
農林漁業	20.2	79.8	-
商工サービス業(自営業)	21.3	77.3	1.4
自由業	42.5	57.5	-
管理職	11.3	88.0	0.7
事務・技術職	16.3	77.8	5.8
現業職	10.6	89.4	-
専業主婦	11.4	86.9	1.6
その他・無職	17.6	78.5	3.9
F4 市郡別			
大都市	12.2	83.6	4.3
中都市	13.7	84.0	2.3
小都市	11.7	85.2	3.0
町村	24.1	75.1	0.8
F5 地域別			
札幌市	12.2	83.6	4.3
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	16.5	80.8	2.7
渡島・桧山管内	23.1	76.1	0.8
胆振・日高管内	17.1	80.3	2.5
上川・留萌・宗谷管内	18.8	77.9	3.3
十勝・網走・釧路・根室管内	11.2	87.8	1.0
F6 選挙区別			
1区	15.6	80.5	3.9
2区	10.4	87.4	2.1
3区	5.3	85.4	9.2
4区	20.0	77.5	2.6
5区	18.1	81.9	-
6区	11.8	84.1	4.1
7区	9.9	87.0	3.1
8区	23.1	76.1	0.8
9区	17.1	80.3	2.5
10区	22.5	73.4	4.1
11区	12.9	87.1	-
12区	9.5	90.5	-
問15 暮らし向き			
上向き	28.3	69.1	2.6
横ばい	11.0	86.1	2.9
下向き	18.1	79.2	2.7
無回答	-	100.0	-

〔東京都〕問10 どちらが住みやすいか(SA)

単位:%	大都市圏	地方	無回答
全体	68.1	27.8	4.1
F1 性別			
男性	65.8	29.6	4.6
女性	70.4	26.0	3.6
F2 年代別			
20代	61.3	35.2	3.5
30代	69.0	28.7	2.3
40代	65.8	29.5	4.7
50代	70.7	25.8	3.5
60代	72.7	23.0	4.3
70歳以上	72.2	20.2	7.5
F3 職業別			
農林漁業	33.3	66.7	-
商工サービス業(自営業)	67.1	28.9	4.0
自由業	66.7	23.0	10.3
管理職	64.2	33.2	2.6
事務・技術職	68.5	29.4	2.1
現業職	62.8	30.5	6.7
専業主婦	69.3	28.1	2.6
その他・無職	70.5	23.2	6.3
問15 暮らし向き			
上向き	68.3	29.7	2.0
横ばい	68.6	26.8	4.6
下向き	66.9	29.3	3.8
無回答	53.0	47.0	-

(2) 行政サービス



問11 教育、医療、社会資本整備、文化などの行政サービスに関し、大都市圏と地方ではどちらが恵まれていると思いますか。(単数回答)

住みやすさでは対照的な見方をした道民と都民だったが、行政サービスでは「大都市圏」が恵まれているとする人がともに8割を占め、「地方」は1割台にとどまる。

<北海道>

性別で見ると、女性は「大都市圏」が8割を下回り、「地方」が16.0%とやや高い。

地域別では、十勝・網走・釧路・根室管内で「地方」が22.5%と2割を超える。

問10の住みやすさとの関係では、「地方」の方が住みやすいと回答した人でも「大都市圏」が78.7%と8割近い。

<東京>

「大都市圏」はほとんどの層で8割を超え、事務・技術職では9割近い。

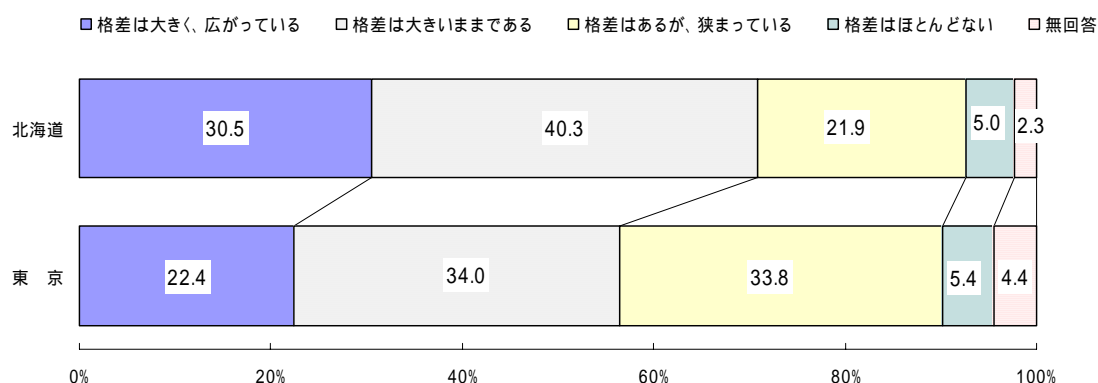
〔北海道〕問11 どちらの行政サービスが恵まれているか(SA)

単位:%	大都市圏	地方	無回答
全体	80.5	13.1	6.3
F1 性別			
男性	84.9	9.9	5.1
女性	76.6	16.0	7.4
F2 年代別			
20代	84.4	12.4	3.2
30代	85.1	11.6	3.3
40代	78.4	14.9	6.6
50代	82.6	10.8	6.6
60代	80.0	13.6	6.4
70歳以上	72.0	15.9	12.1
F3 職業別			
農林漁業	70.2	29.8	-
商工サービス業(自営業)	91.1	8.4	0.5
自由業	85.0	15.0	-
管理職	87.0	8.6	4.4
事務・技術職	81.7	13.2	5.1
現業職	82.8	15.1	2.2
専業主婦	72.6	16.3	11.1
その他・無職	83.4	9.4	7.2
F4 市郡別			
大都市	82.0	10.7	7.3
中都市	82.4	13.9	3.7
小都市	79.0	13.2	7.9
町村	77.5	16.0	6.5
F5 地域別			
札幌市	82.0	10.7	7.3
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	80.2	14.7	5.1
渡島・松山管内	91.6	4.1	4.3
胆振・日高管内	88.2	5.0	6.8
上川・留萌・宗谷管内	80.0	13.5	6.6
十勝・網走・釧路・根室管内	70.9	22.5	6.6
F6 選挙区別			
1区	89.7	9.7	0.6
2区	85.7	6.1	8.2
3区	70.3	16.5	13.2
4区	78.3	13.2	8.6
5区	75.6	20.0	4.4
6区	77.8	15.6	6.6
7区	86.0	14.0	-
8区	91.6	4.1	4.3
9区	88.2	5.0	6.8
10区	87.7	6.9	5.3
11区	58.0	31.7	10.3
12区	69.6	20.0	10.4
問15 暮らし向き			
上向き	80.8	16.7	2.5
横ばい	78.0	15.8	6.3
下向き	84.5	8.7	6.8
無回答	-	33.6	66.4
問10 住みやすさ			
大都市圏	97.8	2.2	-
地方	78.7	15.2	6.1
無回答	43.1	10.6	46.3

〔東京都〕問11 どちらの行政サービスが恵まれているか(SA)

単位:%	大都市圏	地方	無回答
全体	85.3	10.4	4.3
F1 性別			
男性	84.7	10.0	5.3
女性	85.8	10.8	3.4
F2 年代別			
20代	87.7	8.0	4.3
30代	84.4	12.8	2.7
40代	86.0	12.4	1.6
50代	83.8	9.6	6.6
60代	81.5	13.4	5.1
70歳以上	87.7	6.5	5.8
F3 職業別			
農林漁業	50.0	50.0	-
商工サービス業(自営業)	86.3	11.0	2.7
自由業	83.7	8.7	7.6
管理職	83.9	12.2	3.9
事務・技術職	89.4	7.1	3.5
現業職	80.2	18.6	1.1
専業主婦	84.4	11.7	3.9
その他・無職	82.7	10.3	6.9
問15 暮らし向き			
上向き	87.4	10.0	2.7
横ばい	87.5	7.6	4.9
下向き	78.5	17.8	3.7
無回答	100.0	-	-
問10 住みやすさ			
大都市圏	88.9	8.7	2.4
地方	81.3	15.8	2.9
無回答	50.4	2.9	46.8

(3) 地域格差の実感度



問12 大都市圏と地方の格差についてどう思いますか。(単数回答)

道民、都民ともに「格差はほとんどない」は5%台と低く、大半が地域格差の存在を認識している。しかしながら、その度合いは両地域で意見が分かれ、北海道では「格差は大きいままである」が40.3%と最多で、次いで「格差は大きく、広がっている」が30.5%となり、「格差はあるが、狭まっている」は21.9%と低い。一方、東京の場合、「格差は大きいままである」34.0%と「格差はあるが、狭まっている」33.8%はほぼ同率で、「格差は大きく、広がっている」は22.4%と低い。このように、北海道の方が地域格差をより強く実感している。

<北海道>

「格差は大きく、広がっている」の割合はおおむね年代が上がるほど高くなり、60代以上の高年齢層では4割近くを占める。また、この項目と「格差は大きいままである」を合わせた『格差は大きい』とする意見は30代と40代で8割を上回る。一方、20代では意識が異なり、同項目は6割を下回り、「格差はあるが、狭まっている」が32.3%と高い。

職業別でみると、管理職は「格差は大きく、広がっている」が47.5%と半数近い。

「格差は大きく、広がっている」は、都市規模でその割合が異なり、大都市は29.8%だが、町村では39.5%と約10ポイントの開きがある。また、「格差は大きく、広がっている」が最も高い地域は、上川・留萌・宗谷管内の42.7%である。

問1の小泉政権の5年間の日本の変化との相関関係は顕著で、「ますます良くなっている」と回答した人は「格差はあるが、狭まっている」が57.3%と最も高く、『格差は大きい』は27.9%と3割を下回る。一方、「ますます悪くなっている」とした人では同項目が79.6%と高く、そのうち「格差は大きく、広がっている」が54.3%と5割以上を占める。

問5の二極化現象との関係についてみると、「努力がむくわれず不平等な社会になっている」とした人は、『格差は大きい』と「格差は大きく、広がっている」の割合がそれぞれ74.6%、

35.6%と高いが、「能力しだいで豊かになれるよい社会になっている」とした人では、それぞれ 63.0%、20.3%と低く、社会格差をネガティブに捉える人ほど地域格差を強く感じている。

また、問10の住みやすさとの関係でみると、「格差は大きく、広がっている」の回答率は、「地方」の方が住みやすいとした人では 26.6%を占めるが、「大都市圏」と回答した人では 48.7%と半数近い。

<東京>

年代別でみると、『格差は大きい』は70歳以上で45.3%と、唯一5割を下回る。また、「格差はあるが、狭まっている」は、40代で38.6%と4割近い。

問1の小泉政権の5年間の日本の変化との関係では、「ますます良くなっている」とした人では「格差は大きく、広がっている」の回答率が15.2%だが、「ますます悪くなっている」とした人では39.5%と全体値を大きく上回り、悪化していると思う人ほど「格差は大きく、広がっている」の割合はおおむね高くなっている。

問5の社会格差との関係でも、「よい社会になっている」とした人は、「格差は大きく、広がっている」『格差は大きい』がそれぞれ17.1%、52.8%にとどまるが、「不平等な社会になっている」とした人では、それぞれ26.4%、60.0%と高い。

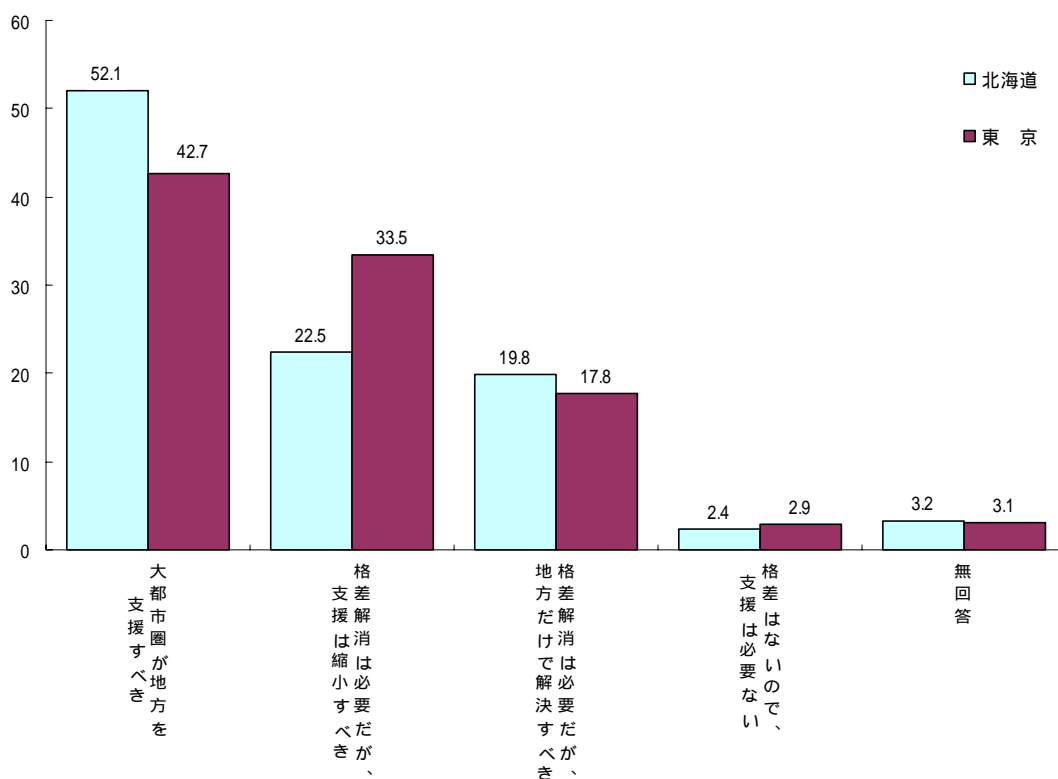
〔北海道〕問12 地域格差に対する実感度(SA)

単位:%	格差は大きく、広がっている	格差は大きいままである	格差はあるが、狭まっている	格差はほとんどない	無回答	『格差は大きい』
全 体	30.5	40.3	21.9	5.0	2.3	70.8
F1 性別						
男性	37.3	37.4	21.0	2.4	1.9	74.7
女性	24.6	42.8	22.8	7.2	2.6	67.4
F2 年代別						
20代	16.6	43.0	32.3	8.1	-	59.6
30代	29.7	54.3	14.5	-	1.5	84.0
40代	25.9	54.8	16.5	2.1	0.7	80.7
50代	33.6	34.0	27.1	4.8	0.4	67.6
60代	39.8	34.7	18.6	3.7	3.2	74.5
70歳以上	38.7	19.7	21.4	11.4	8.9	58.4
F3 職業別						
農林漁業	42.1	20.5	-	32.7	4.7	62.6
商工サービス業(自営業)	28.4	48.4	23.3	-	-	76.8
自由業	42.5	42.5	-	15.0	-	85.0
管理職	47.5	24.7	23.3	4.4	-	72.2
事務・技術職	32.1	37.4	29.9	0.6	-	69.5
現業職	23.2	41.9	28.9	5.1	0.9	65.1
専業主婦	22.9	43.6	23.0	7.2	3.3	66.5
その他・無職	36.9	41.2	11.6	5.2	5.0	78.1
F4 市郡別						
大都市	29.8	40.3	24.4	4.1	1.4	70.1
中都市	30.1	38.5	24.0	5.1	2.2	68.6
小都市	23.6	44.6	25.0	3.4	3.4	68.2
町村	39.5	37.9	12.2	7.8	2.6	77.4
F5 地域別						
札幌市	29.8	40.3	24.4	4.1	1.4	70.1
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	30.4	37.4	28.8	0.9	2.4	67.8
渡島・桧山管内	35.0	31.2	20.0	8.4	5.3	66.2
胆振・日高管内	29.0	51.0	12.6	4.9	2.5	80.0
上川・留萌・宗谷管内	42.7	42.0	10.4	3.6	1.2	84.7
十勝・網走・釧路・根室管内	23.5	42.1	21.5	10.1	2.9	65.6
F6 選挙区別						
1区	24.7	44.8	29.2	0.7	0.6	69.5
2区	32.3	41.6	19.1	6.2	0.7	73.9
3区	33.4	40.6	18.4	3.6	3.9	74.0
4区	35.9	31.4	27.6	5.1	-	67.3
5区	21.0	40.7	33.7	-	4.6	61.7
6区	41.3	44.4	9.9	2.9	1.5	85.7
7区	21.2	42.8	32.9	3.1	-	64.0
8区	35.0	31.2	20.0	8.4	5.3	66.2
9区	29.0	51.0	12.6	4.9	2.5	80.0
10区	42.9	31.5	22.7	2.2	0.8	74.4
11区	22.4	35.9	22.5	14.7	4.5	58.3
12区	24.5	47.4	11.6	12.9	3.6	71.9
問15 暮らし向き						
上向き	34.2	46.9	5.6	13.3	-	81.1
横ばい	25.0	39.9	28.8	4.6	1.7	64.9
下向き	37.7	39.9	15.2	4.0	3.1	77.6
無回答	-	-	33.6	-	66.4	0.0
問1 小泉政権の5年間の日本の変化						
ますます良くなっている	9.1	18.8	57.3	11.8	2.9	27.9
良いままが続いている	25.4	42.0	24.1	6.6	2.0	67.4
悪いままが続いている	26.9	49.2	19.4	3.8	0.7	76.1
ますます悪くなっている	54.3	25.3	12.3	3.7	4.4	79.6
無回答	21.0	25.2	38.0	4.9	11.0	46.2
問5 二極化現象に対する考え方						
不平等な社会になっている	35.6	39.0	18.7	5.1	1.6	74.6
よい社会になっている	20.3	42.7	28.4	4.8	3.9	63.0
無回答	24.5	42.8	26.8	3.7	2.2	67.3
問10 住みやすさ						
大都市圏	48.7	33.0	15.0	2.8	0.6	81.7
地方	26.6	42.3	23.5	5.3	2.4	68.9
無回答	50.3	19.0	14.3	7.0	9.4	69.3

〔東京都〕問12 地域格差に対する実感度(SA)

単位:%	格差は大きく、広がっている	格差は大きいままである	格差はあるが、狭まっている	格差はほとんどない	無回答	『格差は大きい』
全 体	22.4	34.0	33.8	5.4	4.4	56.4
F1 性別						
男性	23.2	36.4	31.6	5.8	3.0	59.6
女性	21.7	31.5	35.9	5.0	5.8	53.2
F2 年代別						
20代	15.3	41.5	37.3	3.5	2.3	56.8
30代	23.2	42.2	27.5	3.7	3.3	65.4
40代	22.1	31.9	38.6	2.2	5.3	54.0
50代	27.2	31.6	31.5	5.5	4.2	58.8
60代	22.2	30.7	31.7	9.0	6.3	52.9
70歳以上	27.1	18.2	36.9	11.1	6.7	45.3
F3 職業別						
農林漁業	-	33.3	16.7	50.0	-	33.3
商工サービス業(自営業)	24.6	30.6	30.5	8.1	6.1	55.2
自由業	28.8	25.9	25.2	10.8	9.3	54.7
管理職	32.1	24.9	36.0	4.4	2.5	57.0
事務・技術職	22.1	36.6	34.6	2.0	4.8	58.7
現業職	22.5	32.6	36.2	5.2	3.5	55.1
専業主婦	20.1	34.3	35.8	6.7	3.1	54.4
その他・無職	19.9	36.5	32.9	6.6	4.0	56.4
問15 暮らし向き						
上向き	21.7	43.3	29.8	2.0	3.2	65.0
横ばい	21.3	34.8	35.1	5.6	3.1	56.1
下向き	25.5	27.0	32.5	6.8	8.3	52.5
無回答	53.0	-	47.0	-	-	53.0
問1 小泉政権の5年間の日本の変化						
ますます良くなっている	15.2	31.2	42.4	9.9	1.3	46.4
良いままが続いている	20.7	38.5	31.9	4.5	4.4	59.2
悪いままが続いている	20.5	31.8	39.1	4.1	4.5	52.3
ますます悪くなっている	39.5	35.1	17.3	6.8	1.3	74.6
無回答	15.2	20.7	39.1	9.8	15.2	35.9
問5 二極化現象に対する考え方						
不平等な社会になっている	26.4	33.6	29.6	6.2	4.2	60.0
よい社会になっている	17.1	35.7	38.7	4.8	3.7	52.8
無回答	22.6	24.4	38.7	2.8	11.5	47.0
問10 住みやすさ						
大都市圏	26.7	31.8	32.3	4.5	4.8	58.5
地方	12.9	39.5	38.8	7.3	1.6	52.4
無回答	16.8	32.7	24.6	8.4	17.6	49.5

(4) 地方に対する財政支援の是非



問13 地方自治体の財政不足の穴埋めに、大都市圏の企業や個人が支払った税金の一部が当てられています。このことについてどう思いますか。(単数回答)

「格差解消のためにも、大都市圏が地方を支援すべき」は、北海道、東京でともに最多となるが、北海道が9ポイント程度高い。逆に「格差解消は必要だが、支援は縮小すべき」は、東京が33.5%と、北海道の22.5%を11ポイント上回る。また、「格差解消は必要だが、地方だけで解決すべき」「そもそも格差はないので、支援は必要ない」はそれぞれ2割弱、2%台とほぼ同じ割合となる。このように両住民ともに財政支援の必要性は認めるものの、東京の方がより消極的な姿勢を示す。

<北海道>

市郡別でみると、「大都市圏が地方を支援すべき」は町村で39.2%と際立って低く、代わって自立路線の「地方だけで解決すべき」が28.6%と3割近くを占める。

地域別でみると、渡島・松山管内では自立路線の「地方だけで解決すべき」が34.0%と、「大都市圏が地方を支援すべき」(32.8%)を上回る。逆に、上川・留萌・宗谷管内では、「大都市圏が地方を支援すべき」が64.0%と高率を示す。

問12の地域格差に対する実感度との関係についてみると、「格差は大きく、広がっている」や「格差は大きいままである」と回答した人は「大都市圏が地方を支援すべき」がそれぞれ63.6%、56.0%と高いが、「格差はあるが、狭まっている」「格差はほとんどない」とした人では3割台と低く、受け止め方で差が生じる。

<東京>

年代別でみると、「大都市圏が地方を支援すべき」が最も高いのは50代の50.1%で、逆に最も低いのは70歳以上の32.8%である。

問12の地域格差に対する実感度との関係は北海道と同じで、『格差が大きい』とする人の5割以上が「大都市圏が地方を支援すべき」と回答している。

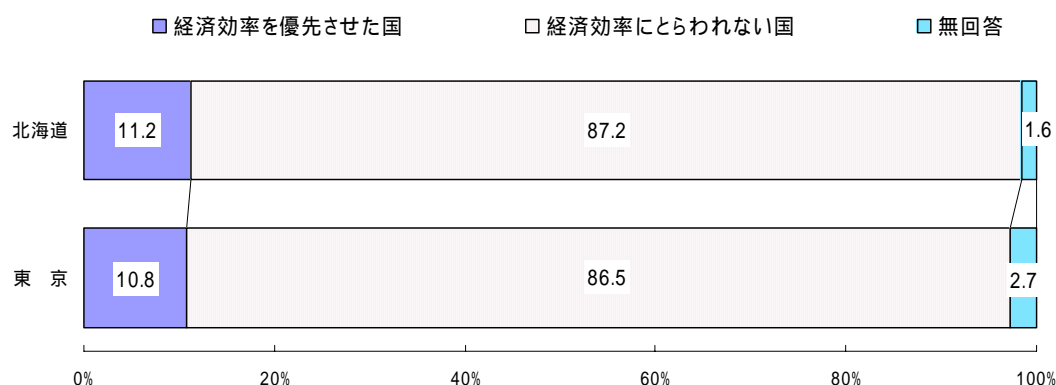
(北海道)問13 大都市圏が地方を支援することへの是非(SA)

単位:%	大都市圏が地方を支援すべき	格差解消は必要だが、支援は縮小すべき	格差解消は必要だが、地方だけで解決すべき	格差はないので、支援は必要ない	無回答
全体	52.1	22.5	19.8	2.4	3.2
F1 性別					
男性	48.9	21.7	24.6	1.1	3.7
女性	54.9	23.3	15.6	3.6	2.7
F2 年代別					
20代	56.0	16.0	26.4	1.6	-
30代	50.2	32.2	17.6	-	-
40代	50.4	22.1	22.1	1.3	4.0
50代	53.3	21.8	20.5	-	4.5
60代	53.6	24.7	14.9	2.2	4.6
70歳以上	48.6	19.0	16.5	10.1	5.8
F3 職業別					
農林漁業	93.7	-	6.3	-	-
商工サービス業(自営業)	41.0	23.6	32.6	2.9	-
自由業	57.5	-	-	-	42.5
管理職	44.6	21.2	27.6	4.4	2.2
事務・技術職	47.8	27.9	21.1	-	3.2
現業職	54.8	14.7	26.8	3.7	-
専業主婦	47.7	30.0	16.4	2.3	3.7
その他・無職	60.3	16.1	15.2	3.7	4.7
F4 市郡別					
大都市	55.0	17.9	19.0	3.2	4.8
中都市	52.7	27.8	16.7	1.1	1.8
小都市	59.2	20.1	16.4	-	4.4
町村	39.2	26.0	28.6	5.2	1.0
F5 地域別					
札幌市	55.0	17.9	19.0	3.2	4.8
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	56.8	25.7	13.3	0.3	3.9
渡島・桧山管内	32.8	27.7	34.0	5.5	-
胆振・日高管内	54.5	18.4	25.3	1.8	-
上川・留萌・宗谷管内	64.0	21.3	10.6	1.5	2.5
十勝・網走・釧路・根室管内	42.5	27.1	25.2	2.6	2.7
F6 選挙区別					
1区	64.9	20.5	9.7	4.2	0.6
2区	51.6	11.9	27.7	3.6	5.2
3区	52.8	20.6	22.1	-	4.4
4区	41.6	35.9	11.3	3.0	8.2
5区	58.9	18.2	17.9	-	5.0
6区	66.1	17.3	11.6	1.8	3.1
7区	35.9	31.0	29.9	-	3.2
8区	32.8	27.7	34.0	5.5	-
9区	54.5	18.4	25.3	1.8	-
10区	61.0	23.7	10.5	0.8	4.0
11区	50.6	32.0	9.2	5.1	3.0
12区	39.4	19.4	37.6	2.1	1.5
問15 暮らし向き					
上向き	65.8	13.4	17.4	1.0	2.4
横ばい	51.6	24.5	20.1	2.6	1.2
下向き	50.5	21.1	20.0	2.3	6.0
無回答	-	100.0	-	-	-
問12 地域格差の実感度					
格差は大きく、広がっている	63.6	17.8	14.6	0.4	3.6
格差は大きいままである	56.0	27.2	16.2	-	0.5
格差はあるが、狭まっている	36.0	24.6	30.3	3.1	6.1
格差はほとんどない	31.1	6.7	29.6	27.4	5.1
無回答	28.2	18.7	32.6	8.9	11.5

(東京都)問13 大都市圏が地方を支援することへの是非(SA)

単位:%	大都市圏が 地方を支援 すべき	格差解消は 必要だが、 支援は縮小 すべき	格差解消は 必要だが、 地方だけで 解決すべき	格差はない ので、支援 は必要ない	無回答
全 体	42.7	33.5	17.8	2.9	3.1
F1 性別					
男性	45.0	29.7	19.9	2.8	2.6
女性	40.4	37.3	15.7	3.0	3.5
F2 年代別					
20代	40.1	37.0	14.6	2.5	5.8
30代	42.4	34.0	22.2	1.4	-
40代	42.3	38.2	16.0	1.4	2.1
50代	50.1	29.6	18.1	0.8	1.3
60代	46.9	30.6	15.1	3.7	3.8
70歳以上	32.8	30.2	21.3	9.9	5.9
F3 職業別					
農林漁業	33.3	-	16.7	50.0	-
商工サービス業(自営業)	54.2	26.9	14.5	3.2	1.3
自由業	45.5	23.7	16.3	0.7	13.8
管理職	39.0	33.9	22.9	4.0	0.3
事務・技術職	45.2	28.6	21.8	1.0	3.3
現業職	33.1	41.3	20.5	2.0	3.1
専業主婦	38.3	35.6	21.2	2.9	1.9
その他・無職	41.4	40.9	9.3	5.3	3.2
問15 暮らし向き					
上向き	40.5	45.0	10.7	1.3	2.4
横ばい	43.9	31.0	19.4	2.9	2.8
下向き	41.1	33.7	17.4	3.8	4.0
無回答	-	53.0	47.0	-	-
問12 地域格差の実感度					
格差は大きく、広がっている	51.7	30.6	14.2	1.1	2.4
格差は大きいままである	53.6	33.2	12.0	0.2	1.0
格差はあるが、狭まっている	30.5	39.3	25.6	3.3	1.5
格差はほとんどない	21.4	17.1	24.0	25.0	12.5
無回答	32.9	27.2	13.3	3.5	23.2

(5) 望ましい国の形



問14 これからの日本の形として、どちらが望ましいと思いますか。(単数回答)

「経済性が見込めない地方にも人が住めるよう整備する、経済効率にとられない国」は北海道と東京でほぼ同率で、「経済性が見込める都市部に人を集中させる、経済効率を優先させた国」は1割にとどまり、地域格差の実感では温度差がある道民、都民だったが、国の将来像では一致したビジョンを持っている。

<北海道>

性別で見ると、「経済効率を優先させた国」は、男性で17.2%と女性の5.9%に比べて約3倍高い。

年代別では、「経済効率を優先させた国」は20代と30代で2割近くを占める。

職業別で見ると、効率重視の見方は現業職で29.0%と際立って高い。

問1の小泉政権の5年間の日本の変化との関係についてみると、「ますます良くなっている」とした人は「経済効率を優先させた国」が31.5%と3割に達している。

<東京>

東京でも小泉政権下の5年間で「ますます良くなっている」と評価した人は、「経済効率を優先させた国」が22.4%と全体値を上回るが、その割合は北海道を下回る。

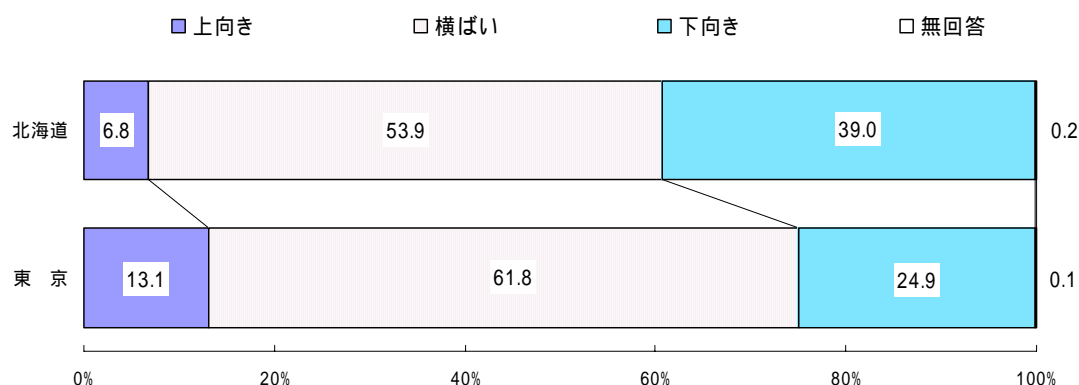
〔北海道〕問14 望ましい日本の形(SA)

単位:%	経済効率を優先させた国	経済効率にとらわれない国	無回答
全体	11.2	87.2	1.6
F1 性別			
男性	17.2	80.7	2.1
女性	5.9	92.9	1.2
F2 年代別			
20代	17.3	82.7	-
30代	18.7	78.8	2.4
40代	9.6	90.4	-
50代	6.4	91.7	1.9
60代	4.4	94.6	1.0
70歳以上	11.3	83.9	4.8
F3 職業別			
農林漁業	-	100.0	-
商工サービス業(自営業)	19.4	80.6	-
自由業	-	100.0	-
管理職	14.6	85.4	-
事務・技術職	12.0	85.4	2.5
現業職	29.0	69.6	1.4
専業主婦	2.5	96.7	0.7
その他・無職	8.8	88.4	2.8
F4 市郡別			
大都市	9.2	88.0	2.8
中都市	13.0	86.2	0.8
小都市	11.7	88.3	-
町村	11.6	85.9	2.5
F5 地域別			
札幌市	9.2	88.0	2.8
札幌市を除く石狩・後志・空知管内	8.9	90.2	0.9
渡島・松山管内	8.1	90.3	1.6
胆振・日高管内	6.6	93.4	-
上川・留萌・宗谷管内	11.9	85.5	2.5
十勝・網走・釧路・根室管内	19.7	79.7	0.5
F6 選挙区別			
1区	5.5	88.8	5.7
2区	18.3	80.1	1.6
3区	6.7	92.1	1.2
4区	4.4	93.1	2.5
5区	9.3	90.7	-
6区	9.8	90.2	-
7区	26.4	73.6	-
8区	8.1	90.3	1.6
9区	6.6	93.4	-
10区	13.8	84.5	1.7
11区	18.0	80.6	1.4
12区	13.3	84.6	2.1
問15 暮らし向き			
上向き	17.5	77.8	4.6
横ばい	14.1	85.0	1.0
下向き	6.2	91.8	2.0
無回答	-	100.0	-
問1 小泉政権の5年間の日本の変化			
ますます良くなっている	31.5	65.6	2.9
良いままが続いている	19.1	80.6	0.4
悪いままが続いている	3.7	95.3	1.0
ますます悪くなっている	13.8	82.3	3.9
無回答	4.5	90.1	5.4

〔東京都〕問14 望ましい日本の形(SA)

単位:%	経済効率を優先させた国	経済効率にとらわれない国	無回答
全体	10.8	86.5	2.7
F1 性別			
男性	14.4	83.3	2.4
女性	7.2	89.7	3.1
F2 年代別			
20代	13.6	86.4	-
30代	9.0	89.5	1.5
40代	10.5	85.0	4.5
50代	10.4	85.7	3.9
60代	8.9	86.6	4.5
70歳以上	11.6	85.1	3.4
F3 職業別			
農林漁業	-	100.0	-
商工サービス業(自営業)	8.7	87.0	4.3
自由業	7.8	88.7	3.4
管理職	15.7	78.8	5.4
事務・技術職	12.3	85.9	1.9
現業職	9.8	89.5	0.7
専業主婦	7.3	88.8	3.9
その他・無職	12.0	86.1	2.0
問15 暮らし向き			
上向き	18.7	79.3	1.9
横ばい	8.7	88.2	3.0
下向き	11.6	85.9	2.4
無回答	-	100.0	-
問1 小泉政権の5年間の日本の変化			
ますます良くなっている	22.4	69.4	8.1
良いままが続いている	12.4	86.0	1.5
悪いままが続いている	8.8	89.0	2.1
ますます悪くなっている	6.7	91.4	1.9
無回答	5.4	86.6	8.0

(6) 暮らし向き



問 15 あなたの暮らし向きはどうか。(単数回答)

北海道、東京ともに「横ばい」「下向き」「上向き」と続くが、各割合は異なり、都民に比べて道民の暮らし向きは依然として厳しい。

<北海道>

年代別で見ると、50代と60代では「下向き」が5割前後で、最も多い回答となっている。また、20代では「上向き」が18.6%と、全体値を大きく上回る。

地域別では、渡島・桧山管内で「下向き」が58.4%と唯一半数を超えている。

<東京>

どの年代も「横ばい」が最多だが、「下向き」は50代(35.6%)と60代(37.1%)で全体値を10ポイント以上上回り、20代では「上向き」が32.5%と際立って高くなるなど、北海道と似た傾向を示している。

〔北海道〕問15 暮らし向き(SA)

単位:%	上向き	横ばい	下向き	無回答
全 体	6.8	53.9	39.0	0.2
F1 性別				
男性	10.3	52.2	37.2	0.3
女性	3.8	55.5	40.6	0.1
F2 年代別				
20代	18.6	56.0	25.4	-
30代	7.2	66.4	26.4	-
40代	4.8	57.7	37.5	-
50代	6.6	45.5	48.0	-
60代	0.8	46.5	52.3	0.4
70歳以上	2.4	52.6	44.1	0.9
F3 職業別				
農林漁業	45.4	31.3	23.4	-
商工サービス業(自営業)	5.7	67.0	27.4	-
自由業	-	57.5	42.5	-
管理職	5.4	61.5	33.1	-
事務・技術職	5.5	59.7	34.8	-
現業職	8.2	64.8	27.1	-
専業主婦	1.5	56.3	41.9	0.3
その他・無職	10.6	36.9	51.9	0.6
F4 市都別				
大都市	6.4	55.4	38.2	-
中都市	4.3	56.0	39.1	0.5
小都市	6.8	57.1	35.8	0.3
町村	10.7	45.7	43.7	-
F5 地域別				
札幌市	6.4	55.4	38.2	-
札幌市を除く(石狩・後志・空知管内)	8.2	50.2	41.3	0.3
渡島・桧山管内	6.5	33.5	58.4	1.6
胆振・日高管内	5.9	57.9	36.2	-
上川・留萌・宗谷管内	9.7	50.4	39.9	-
十勝・網走・釧路・根室管内	5.1	64.9	30.0	-
F6 選挙区別				
1区	8.6	65.2	26.2	-
2区	6.9	46.4	46.6	-
3区	1.4	63.7	34.8	-
4区	9.9	49.7	40.4	-
5区	3.1	39.3	56.9	0.7
6区	0.8	52.1	47.1	-
7区	-	61.2	38.8	-
8区	6.5	33.5	58.4	1.6
9区	5.9	57.9	36.2	-
10区	21.1	50.5	28.4	-
11区	7.7	61.9	30.5	-
12区	8.8	71.6	19.6	-

〔東京都〕問15 暮らし向き(SA)

単位:%	上向き	横ばい	下向き	無回答
全 体	13.1	61.8	24.9	0.1
F1 性別				
男性	15.1	59.5	25.2	0.2
女性	11.2	64.0	24.7	0.1
F2 年代別				
20代	32.5	56.0	11.5	-
30代	14.7	69.0	16.3	-
40代	10.2	63.5	26.3	-
50代	3.0	61.4	35.6	-
60代	7.1	55.2	37.1	0.5
70歳以上	3.0	66.3	30.2	0.5
F3 職業別				
農林漁業	-	83.3	16.7	-
商工サービス業(自営業)	25.4	44.3	30.3	-
自由業	24.2	54.2	21.6	-
管理職	7.9	71.0	21.1	-
事務・技術職	9.4	70.0	20.7	-
現業職	14.4	59.4	26.2	-
専業主婦	7.6	63.9	28.0	0.4
その他・無職	15.9	56.7	27.1	0.3